

様似郷土館だより

— 2025年 5月号 Vol.14 —

編集・発行：様似郷土館

〒058-0024 北海道様似郡様似町会所町1番地／TEL 0146-36-3335／Mail samanikyoudokan@future.ocn.ne.jp

4月1日から様似町のアイヌ文化を紹介するShamani Ainuを公開しました。昨年度は本事業のために新設看板の設置、HPの作成、掲載内容の確認などをしました。デジタルスタンプラリーに関しては既に数名の方々が達成しております。景品にはShamani Ainuオリジナル写真をご用意しております。また、夏ごろには缶バッチなど景品を充実させていく予定です。ぜひ挑戦してみてください。現地を周遊しながら様似町のアイヌ文化を学びましょう♪

様似町の山でも山菜が採れています。山菜採取中には既に活動中のマダニを2頭発見しました。野山に入る際には肌の露出を失くし、長靴などを着用し、乗車前・帰宅後のダニチェックは必須です。また、行者ニンニクと見た目が少し似ているイヌサフランが町内でも混生しているため、採取時には要確認です。

野山では昆虫の活動が始まっており、楽しい季節がやってきました！今年
は観音山での昆虫調査を実施し、5月のカンカン講座ではエンルム海岸での漂着物・昆虫調査も実施します。今年もどんな昆虫と出会えるか楽しみです♪(榎本尊)



カンカン講座 4月

【報告】

4月26日(土)に「亀のストラップづくり&南アフリカの石を見てみよう」を開催しました。郷土館からは亀の剥製や鴨居飾りを展示し、亀の解説をしました。加藤学芸員からは南極探検隊の方が持ち帰った南アフリカの石の解説がありました。亀の甲羅に似た石の紹介もありました。ストラップづくりでは紐を使って亀を作成しました。



昆虫紹介 「クジャクチョウ」

3月下旬ごろからハエや一部の蝶が暖かい日には活動を開始します。クジャクチョウは春先から目にする機会も多く、見覚えのある方も多いかもしれません。成虫越冬し、翅の表面には鮮やかなオレンジ色に目玉模様が目立ちます。裏面は地味な暗色のため、翅を閉じると目立ちません。花に吸蜜に訪れます。



エンルム海岸の漂着物と生き物調査

【予告】

【日 時】 5月24日(土) 10:00～11:30

【場 所】 様似郷土館、エンルム海岸

【備 考】 10時に様似郷土館に集合。雨天中止

【申 込】 0146-36-3335(月曜休館)

【持ち物】 長靴、軍手、飲み物

【内 容】 海岸には漂着物や海岸環境に生息する植物や昆虫がいます。海岸の生きものや漂着物に関する事前説明を実施し、エンルム海岸で実地調査をします。

2025年5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 祝
4 祝	5 祝	6 祝	7 休館日	8 休館日	9 休館日	10
11	12 休館日	13	14	15	16	17
18	19 休館日	20	21	22	23	24
25	26 休館日	27	28	29	30	31

10:00～16:30 開館 入館無料

展示解説、団体見学、郷土館資料の体験会等も実施しておりますので、希望者は様似郷土館へお問い合わせください。

【内 容】 アイヌ政策推進交付金を活用して様似町内のアイヌ文化を紹介するホームページ「Shamani Ainu」を作成しました。町内のアイヌ文化や伝説の紹介、美しい写真を掲載しています。

【告 知】 町内15箇所を回るデジタルスタンプラリーを実施中です。各地点にあるQRコードをスマホで読み込むとスタンプ可能です。既存のジオサイトの看板(会所跡、エンルム岬、観音山展望台、カムイチャン跡、親子岩、冬島の穴岩、アポイ岳(山荘駐車場)、岡田のチセ)、施設窓ガラス(様似郷土館、観光案内所、アポイ岳ジオパークビジターセンター)、新設看板(等渡院、西町ホタフンペ、様似ダム、ソピラ公園)に設置しております。スタンプラリー達成者への景品は写真セットです(計37種類から6種をお選びいただけます)。様似郷土館で景品交換可能です。



様似郷土館紀要5号 発行

【内 容】紀要5号を発刊しました。地質、昆虫、動物、博物館、鉄道、歴史と幅広い内容を掲載しております。計8人から11本の論文等の投稿がありました。様似町の自然や歴史に関する研究・調査成果が掲載されています。図書館、郷土館で閲覧可能です。データPDFは様似町HPに掲載しております。年報では令和5年度の郷土館とビジターセンターの報告書を掲載しております。

今年度も6号を発刊予定です。様似町周辺の歴史や自然分野の報告・論文を募集しますので、ご投稿お待ちしております。名前の分からない昆虫などがありましたら、写真や実物を郷土館へお持ちいただければ、種名をお調べいたします。5号で報告した昆虫には観音山や様似ダム、公民館で発見したものもあり、身近にも重要な種は潜んでいます。

様似郷土館紀要
BULLETIN OF SAMANI FOLK MUSEUM

5号 2025.3

<記事>

- 【論 文】 様似町西町ホタフンペのランブローアイアー
(島田 哲也・井上 隆・新井田 達樹)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 【論 文】 北海道におけるヒョウゴマルガタギミシンの追加記録
(伊藤 誠一・堀本 尊・林 成一郎)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 【論 文】 エゾゴザンタツの日本産における産地と分布域の再考
(ラッパの採集例) (澤田 昌典・堀本 尊)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- 【論 文】 エゾシマリスによるカサハシの捕食事例 (堀本 尊・田中 正人) 23
- 【論 文】 様似町におけるオオカミの捕食記録について
(堀本 尊・河野 潤・高田 謙之)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- 【論 文】 様似町で採集された注目すべき昆虫の記録 I
(堀本 尊・田村 新之)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
- 【調査報告】 様似町アポイ岳とその周辺の地質
(高田 謙之・河野 潤・島田 哲也)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
- 【研究ノート】 北海道内における郷土博物館の現状 (伊藤 誠一)・・・・・・・・・・ 61
- 【論 文】 様似における三井物産の事業と施設 ―様似鉄道と様似駐在員事務所を中心に― (大川 優季)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63
- 【論 文】 瀬田仁助が描いたシヤマニの風景 (神 英徳)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81

<年報>

- 様似郷土館
1. 施設概要
2. 運営
3. 郷土館利用状況
4. 郷土館事業活動内容
アポイ岳ジオパークビジターセンター
1. 施設概要
2. 運営
3. ビジターセンター利用状況
4. ビジターセンター事業活動内容

カンカン講座ってどんな講座？展

【月 日】 4月9日(水)～23日(水)

【場 所】 様似町中央公民館1階 ギャラリー21

【来場数】 86名(名簿記入者16名)

【内 容】 様似町の3つの館(図書館、郷土館、ビジターセンター)が連携して実施しているカンカン講座の展示会を実施しました。月1回の講座を実施しており、工作、野外観察会、講話など内容は多岐にわたります。昨年に続き2回目の開催でした。今年度も計13回の企画を予定しておりますので、是非ご参加ください。

	担 当	内 容	場 所
4月	ビジター	亀のストラップ作り&南アフリカの貴石標本をみよう	公民館
5月	郷土館	エンルム海岸の漂着物調査	郷土館・エンルム海岸
6月	ビジター	eMTB(電動アシストマウンテンバイク)で町内をめぐろう	観光案内所
7月	ビジター	ブラアポイ(自然観察会)	ビジター周辺
8月	郷土館	標本教室・昆虫ジオラマ標本づくり	公民館
9月	図書館	工作教室	公民館
10月	ビジター	ブラアポイ(自然観察会)	ビジター周辺
11月	図書館	クリスマス工作	公民館
12月	郷土館	長わで作る"本格しめ飾り"づくり	公民館
1月	図書館	工作教室	公民館
2月	ビジター	植物の講話	公民館
3月	ビジター	マツ編みコースター作り&新日本電工の標本の観察	公民館
7~8月	東様似生活館	講話「台湾原住民族との交流事業について」	公民館

令和6年度 郷土館運営審議会

【日 時】 4月22日(火) 17:00～18:00

【場 所】 様似町中央公民館2階 会議室

【参加者】 9名(委員5名)

【内 容】 様似郷土館の令和6年度の入館者数、収蔵資料報告、事業報告、令和7年度の事業予定報告を実施いたしました。昨年度の入館者数は800名を超え、過去最多となりました。